

社長です。こんにちは！

毎々お世話になり、心から感謝申し上げます。

憲政史上初の女性首相に選出された高市早苗首相は、トランプ大統領を初め、各国の首脳との会談等、外交で順調な滑り出しをみせています。

高市首相は英国のサッチャー首相を尊敬しているとされ、サッチャー首相が父から聞いたとするウィルコックスの名言に「同じ風に吹かれながら、一艘の舟は東に、もう一艘は西に向かう。どちらに進むかを決めるのは、帆の張り方で、風ではない。」というものがあります。

組織の代表は、いつも決断の連続です。その決断には、組織の浮沈に関わる重大な決断もあります。環境のせいになど到底できません。集団浅慮に陥らない決断が重要です。

今月の雑学「スーパームーン」

10月6日は中秋の名月、つまり旧暦の8月の十五夜でしたが、11月7日の満月はいつもより明るく見えるスーパームーンです。

おまけに、2025年はスーパームーンが3カ月連続で発生します。10月7日、11月5日、12月5日そのすべてがスーパームーンで、それ自体は通常毎年数回発生しており、珍しいのは満月と近地点が続けて重なることで、近地点と月の満ち欠けの状態が徐々にずれていき月が14回満ち欠けを起こすと、そのずれは一巡し、この周期のせいで、スーパームーンは年に1回だけのこともあれば、2025年のように3回連続で起こることもあります。

ヒット商品：「スプラウト・ペンシル」

毎日使って毎日削る。お気に入りの柄が短くなると、ちょっと寂しい気持ちになるなど、そんな鉛筆も大人になると、どういわけか使うのに少し抵抗感があります。削る手間は言うまでもなく、握りづらいサイズにまで短くなると、処分するしかありません。そういった不便さを「楽しみ」に変えてしまう、大人気になったのがこの鉛筆「スプラウト・ペンシル」です。

2012年、MITの学生3人の「植えられる鉛筆」というアイデアから生まれたこの商品、Kickstarterで資金を募ったところ30日で2,000人、約430万円を集めた実績を持ち、現在は月に45万本以上、60を超える国で販売されていて、政府機関や学校などでも使われています。スプラウト・ペンシルは短くなって書くことが難しくなったら、土のなかに入れ、鉛筆の芯が出ていない方に植物の種が入ったカプセルがついており、そこから新たな生命が芽吹くという、身近なところからサステイナビリティを考えるきっかけとなりそうです。

鉛筆本体は森林伐採に関与することなくつくられており、芽は土に入れてから1〜4週間で出てきて、購入する際にバジルやカーネーションなど、さまざまな種類から種を選べます。



Amazon 508円〜

技術通信：高市内閣発足

10月21日に憲政史上初めての女性首相が誕生し、高市内閣が発足しました。公明党が連立を離脱し、注目の国土交通大臣には熊本出身の金子氏が就任しました。金子大臣は地震や豪雨災害に見舞われた、熊本県南部が選挙区です。高市首相からの指示としては、国土強靱化の推進、老朽化したインフラの対策加速が中心の政策となるようです。

首相の所信表明演説の中でも国土強靱化、防災インフラの整備、老朽化したインフラの整備保全、首都機能のバックアップ体制、福島、能登半島の復興が上げられています。これまでの政権以上に取組みを期待したいところです。今年8月の豪雨災害は鹿児島県、大臣の地元熊本県が大きく被害を受けています。早期の復旧が望まれます。

今月の休日

今月の休日は、下記のとおり(網掛け部)とさせていただきます。

休日前後は、混み合うことが予想されます。お早目のオーダーをお待ちしています。

2025年11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
2025年12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			